

## 路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	まぼろし商店街一丁目「ポコペン横丁」
所在地	愛媛県大洲市肱南地区

### 【推薦する理由（路地のよいところ）】

第一回目は、平成 11 年 9 月に開催され、以後毎月第 3 日曜日におおず赤煉瓦館横で営業されている。始めるに当たり、皆のユニホームとして紺地に白字の揃いの前掛けと会場になる白壁の倉庫とおはなはん通りを入れた宣伝用ポスターを製作した。現在は、約千㎡の敷地にイベント用の舞台とお店の土台となる小屋が三棟あるが、開始当初は施設は何もなく開催二週間前の土日からメンバーが集まり、ホームセンターから材木を買い求め木枠だけのブースを作り、看板も手づくり、屋根は簾屋根、仕切りも簾、補助金もないというすべてが手づくりであった。



大州市ホームページより



路地	面積	約千㎡	路地の延長	約	m
路地のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	<p>平成 16 年 4 月から 10 月までの半年間、「十町十色、南予の町の物語」をテーマに懐かしい古い町並みと豊かな自然に恵まれた南予地域を舞台に「パビリオンのない博覧会」として、大洲は内子・宇和とともに主会場として観光まちづくり、新たな交流の契機とするため多彩な催しが繰り広げられた。</p> <p>町並博では「空前絶後の昭和レトロがやってくる！」をテーマに大洲レトロタウンがおはなはん通り・赤煉瓦館周辺で開催された。そのコアイベントとしてまぼろし商店街一丁目「ポコペン横丁」が催された。お店は、「おこらい屋」「少年マンボ」「いりまへん課」「カフェ・マダム堂」「百済ん堂」「たんぼ屋」「だだっこ茶屋」「肉の井下」「松本大次郎」「紅豚萬肱堂」「おせらしい家」など昭和 30 年代をイメージするディスプレイ、オリジナルと ONLY・ONE をコンセプトに、大洲の方言を店名に、古い雰囲気醸し出すオリジナルな看板の製作をテーマに店造りを行った。9 月から 10 月は人が多く 1 日 1 万人以上が来場、身動きが出来なかったという。ポコペンとは、いけない、話にならないという意味である。また同時に、まぼろし商店街二丁目を、会場奥の白壁の土蔵の中で薬局やたばこ屋、理髪店、レコード屋など昭和 30 年代の商店街を昭和小路として再現を行った。</p>			

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。